

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月2日

【評価実施概要】

事業所番号	"0174701037
法人名	医療法人 前田クリニック
事業所名	グループホーム うらら
所在地	上川郡清水町南1条3丁目20番地2 (電話) 0156-69-1177

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年3月27日

【情報提供票より】(20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 24 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	8 人
非常勤	2 人
常勤換算	4 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	2階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費15,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり 35,000 円			

(4) 利用者の概要(平成20年12月31日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	68 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人前田クリニック ・サホロクリニック ・大江病院 ・木村歯科医院 ・いたばしデンタルクリニック
---------	----------------------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームうららは清水町中心部に位置しており、1階が1ユニット9人のグループホーム、2階はシルバーハウスで鉄筋コンクリート造2階建てになっています。日中や行事では利用者同士の交流を図っています。通りを挟んで運営母体の病院があり、利用者の健康面で不安がある場合や、体調の急変時には対応する取組みが来ています。利用者の外出支援として商店へ買い物に出かけたり、町内の温泉施設で入浴をしたり、花見や公園へ散歩に出掛けるなどの支援がされています。畑作りや花壇での花の世話をしながら近隣住民と交流をしており、また週に2~3度ホームリビング内で音楽クラブを開きカラオケを中心に、歌を唄ったりリズム体操を行ったり機能の維持向上に努めています。廊下幅は広く車椅子が余裕をもって交差出来ますし居室も10畳と規定より広く取ってあり洗面台も設置しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価での改善課題は、運営推進会議の定期的開催と避難訓練の実施の取り組みですが、会議は年度内に3回開催されています。避難訓練は、地域住民の協力と理解をテーマに取組みましたが、日程が合わず実施されていない状況にあります。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価を実施する意義について理解しており、職員一人ひとりが全項目について取組み、管理者が取りまとめています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年5月と12月、今年3月に会議が開かれています。清水町福祉課、保健師、町内会役員、民生委員、町内グループホーム管理者、家族会代表等で構成されています。ホーム側より状況報告、外部評価の公表と改善状況、行事の取組みと予定・意見要望等について説明がされています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	年2回ホームの行事に合わせて家族会を開き、利用者の様子を修めたDVDを放映状況報告と一緒に食事会が行なわれています。運営推進会議の内容も報告されています。遠方の家族を含め、季刊誌発行のホーム便り「うれし泣き」と日々の様子を書いた手紙や電話でその都度報告し、意見や要望苦情を言える関係を築いています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町保健福祉センターに通い育児サークル「元気っこクラブ」で小さい子供と触れ合ったり、高校の体験学習を受け入れたりしています。ボランティアの手打ちそばや美容師の訪問もあり、地域に理解されています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から、明るく穏やかで心のどかさを感じられる生活の場であるようにという、うららの由来を基本に地域の中で自分らしく暮らし続ける主旨の理念を掲げ、日常生活の支援をしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常に理念を意識して利用者に支援をする事を心掛けており、申し送りや月1回の職員会議でも理念を振り返り取り組んでいます。玄関や事務室に掲示しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し祭りや敬老会等に参加をしています。町が主催する元気っ子クラブに行き小さい子供達と交流をしています。新年度より季刊誌うれし泣きを町内会に回覧する予定になっています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に自己評価表を渡し検討した後に、職員会議で管理者と共に取りまとめています。前回の外部評価についても検討し改善点を見直しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーに、町保健福祉課・保健師・町内会役員・民生委員・商工会青年部・町内グループホーム管理者・家族会代表・管理者で構成されており、ホームでの報告と意義及び意見要望苦情等を話し合い、議事録は欠席者にも渡しています。	○	平成20年は、5月・12月、平成21年3月の3回開催されています。会議参加者のスケジュールの都合が合わず不定期になっています。避難訓練への協力を含め新年度は概ね2ヶ月ごとに開催される事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町職員の管理栄養士より献立の参考としてアドバイスを 得たり、福祉課とは研修等の相談や指導を受ける等、連 携を密に取っています。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金 銭管理、職員の異動等について、家族等に定期 的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>殆どの家族は、地元にいる方なので面会時に利用者の 日常の様子や金銭管理の報告をしています。また遠方 の家族には電話で通院結果や日常の様子をその都度 報告しています。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員なら びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に 反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置していますが利用はされておらず、 殆どの家族が週1回程度訪問し、面会時に相談や苦情 を言える関係が築かれ、報告書にまとめ情報を共有して います。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員によ る支援を受けられるように、異動や離職を必要最 小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へ のダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はなく離職者も僅かで、管理者は働きやす い職場づくりを目指しており、コミュニケーションを取っ て職員の悩みやストレスの軽減に取り組んでいます。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成す るための計画をたて、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこと を進めている</p>	<p>管理者・職員は外部・内部研修に参加し毎月の職員会 議で報告をしています。聞けなかった職員は、ファイルで 確認しています。 シルバーハウスの職員もグループ ホームでの内部研修に参加しています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流 する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相 互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取り組みをしている</p>	<p>町内の特別養護老人ホームと併設のグループホームの 行事に招待をされたり、また来てもらったり職員だけ でなく利用者同士も交流しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	開設当初からサービスを利用する前提での体験入所や在宅への訪問、事業者のクリニックへの利用を繰り返し馴染みの関係を築ける様心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から料理や畑仕事の事を学んだり、言葉や顔の表情から汲取り共に支えあう関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で利用者のニーズを尊重し記録をして職員全体で検討しています。音楽クラブと称して週に2・3回の歌と体操を実施していますが、利用者の生き生きとした表情が現れています。		
を					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3ヶ月ごとに家族と共に利用者の現在の状況を伝え、計画作成者が中心となって職員全体の意見をまとめQOLの維持向上を心掛けて家族の了承を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の職員会議では、利用者の変化に即して介護計画を見直しており、その都度状況に変化があった場合は、迅速に検討し対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院介助や送迎支援をしています。散歩や買物などの外出支援も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院が開設しているホームの為、入居以前よりかかりつけ医になっており、利用者の健康状態を把握しています。週に2回往診をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアの趣旨を家族に説明し、入居開始時に家族・主治医・管理者含め情報の共有ができています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声掛け時の大きさや発言に気を付けているほか、個人のケアファイルの記入や管理についても事務室カウンターでする等個人情報に気を付けています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の気持ちを尊重し、生活リズムに合わせて柔軟な対応を取る様心掛けています。花火大会やクリスマスに家族も一緒に手伝ってもらい楽しんでもらう支援もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立にも利用者のリクエストを聞いて取り入れた食事を作る工夫や、配膳・後片付けまで役割をもった支援をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿って毎日入浴している利用者もいますし、夜間入浴もしています。月の行事として町内の温泉施設へ入浴に行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	台所の仕事や掃除・洗濯物のたたみ等の家事から歌を歌う、畑仕事や花、熱帯魚の世話まで出来る役割の支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物などの外出支援を行なっています。ドライブへ行ったり花壇や畑等屋外へ出る機会を増やす工夫をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間、玄関は屋外から中には入れませんが、それ以外は自由に出入できます。居間や居室を見渡せる位置に事務室がある為、居室には鍵を付けない支援をしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者の変更もあり、2階のシルバーハウスも含めて避難訓練及び消火訓練の実施は滞っています。	○	消防署と連携して避難訓練は夏季と冬季、日中と夜間の避難が想定される為、年2回の実施と、地域住民にも避難時には協力してもらえる様消火訓練にも参加してもらいよい関係を築く事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量はケアファイルに記録し共有しています。一人ひとりの状況に応じ食べやすい大きさや硬さに注意して支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓は南面前面に大きく取りカーテンで光の量を調節したり電気暖房を取り入れ安全に配慮しています。廊下玄関に行事での写真を飾り季節感を取り入れています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	10帖の大きさを今まで使っていたベット・テレビ・冷蔵庫や写真等を持ち込んで変わらない生活空間を作り出しています。		